

科目名	海外インターンシップ I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			国際学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Overseas Internship I	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中		
担当者名	横田 恵三郎	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
授業のテーマ	海外観光関連企業での就労体験や現地での生活をとおして、視野を拓き異文化を理解し尊重する素養を身に付けるとともに、語学力等今後改善すべき自己の課題を発見することが出来る。また、職業意識を高めることが出来る。				
到達目標	グローバル・センスを身に付ける大切さを理解し、海外への興味、関心を引き出し、以降の学修に活かすこと。また、ある程度自己の職業適性を掴むことを目標とする。				
授業概要	当該授業は事前指導・海外での実習・事後指導・報告会、試験で構成されている。接客現場での就労体験を行なうことになるため、特に身だしなみ、表情、挨拶、言葉遣い等のマナーは基礎的要件としてしっかり実践する必要がある。更に、渡航国の歴史や文化、習慣など基礎的な知識を学び、安全かつ有意義な海外滞在となるよう事前に学習する。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。				
授業計画					
第1回	事前指導① ・ガイダンス ・海外インターンシップとは ・心構え ・自分への十の約束	第5回	事後指導① ・海外インターンシップの振り返り1		
第2回	事前指導② ・整容 ・ビジネス・マナー1 ・自己紹介書(英語) ・挨拶メールの出し方	第6回	事後指導② ・海外インターンシップの振り返り2		
第3回	事前指導③ ・渡航国を知る(文化、習慣) ・必要な渡航準備の確認 ・ビジネス・マナー2	第7回	合同報告会①		
第4回	事前指導④ ・滞在中の留意事項 ・緊急時にとるべきこと	第8回	合同報告会②		
	インターンシップ(40時間以上)	第9回	定期試験		
授業時間外の学習	日頃から身だしなみに留意するとともに世界のニュースや動きに関心を持ち毎日チェックすること(1.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	海外事業所の学生の実習受け入れ態勢がコロナ禍以前には未だ戻っていないことから、実習先は台湾のホテル1カ所に限ることとする。接客現場でのインターンシップになるので整容を保てるのが最低条件となる。また外国語については高みを目指そうと日頃から努力していることを条件とする。受け入れ先との関係から、接客に興味がないまたは適性がないと判断した場合は履修を認めない場合がある。また、事前指導の授業に全て出席した者だけが実習に参加することが出来る。				
テキスト	特に定めない。				
参考文献・資料	プリントとしてその都度授業の中で配付する。				
成績評価の方法	試験20%、報告書・報告会での報告30%、実習受け入れ先企業の評価50% ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。				
オフィスアワー	毎週月曜日・火曜日 9:00~12:00				
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)				
実務経験を活かした授業内容	航空会社の駐在員として3回海外に滞在していたことを踏まえ現地で経験した異文化の内容を説明したい。				

学生への
メッセージ

実習先は台湾のホテルに限られるため、これらを希望しない場合は国内インターンシップ I・II を履修してください。